

石手幼稚園・教育方針

<教育理念>

幸せな人生を生きるための基礎の力を身につける

<教育目標>

子どもたちの幸せになるための力を育てる

1. 努力して、やり遂げられる力 = グリット (完遂力・根性)

(ねばり強く集中できること・考え工夫し創造できること)

2. 本当の目標を見失わない力 = 良心を育てる

(何を守るために頑張っているか自覚できる人 = 幸せを感じられる人)

3. 人を思いやる気持ち = 協調性

<保育の方針>

幅広く誠実な人間関係のもと、人生の基礎となる人格形成に主力をおきます。

令和3年度・自己評価

教職員がそれぞれの活動を振り返り、より良い教育を実施するために、自己評価を実施しました。

令和3年度 自己評価		評価項目		評価 (回答数)		
				A	B	C
I	教育方針の理解	1	園の教育理念・目標が理解できているか。	6	1	0
		2	園の保育の方針が理解できているか。	5	2	0
II	保育の在り方、幼児への対応	1	健康と安全への配慮ができていますか。	5	2	0
		2	幼児のみとりと理解が適切におこなえているか。	2	5	0
		3	こどもと関わりが適切にできていますか。	3	4	0
		4	保育者同士の協力・連携ができていますか。	3	4	0
III	教師としての資質・良識	1	良識とマナーが備わっているか。	3	4	0
		2	保育の楽しみや喜びを感じることができていますか。	6	1	0
IV	保護者への対応	1	情報の伝達・聞き取りができていますか	4	3	0
		2	保護者と協力して保育にあたることをできていますか。	2	5	0
		3	守秘義務を守れているか。	6	1	0
		4	対応上のマナー・良識が適切であるか。	3	4	0
		5	クレームへの対応の仕方が適切であるか。	2	5	0

A: できている、B: だいたいできている、C: できていない

<結果>

IおよびⅢの2の評価は、Aの回答が多く、園の教育目標に基づいて、やりがいのある保育ができていることが確認できました。Ⅱの2やⅣの2は、Bの回答が多く、保護者との協力や園児の正確なみとりに改善の余地があることが分かりました。

<今後について>

保育者自身が、保育に楽しんで取り組むことは、子供たちにとって良い影響を与えるため、今後も園の目標を大切にしつつ、やりがいのある教育・保育環境を大切にしていきたいと思います。また、園児のみとりについては、マスクや距離をとるコロナ対策の影響があると考えられますが、その代わりに声掛けを多くしていくなど、工夫していく必要があります。また、保護者とも密な関係を築いていくことが、より良い教育を実現していくために大切と考えます。